

令和2年度

第1回柏市社会教育委員会議

会議資料

令和2年8月28日

柏市社会教育委員 委員名簿

所属等	職務名	氏名 ※敬称略
柏市立柏第四小学校	校長	いわた くみ 岩田 久美
柏市立柏第二中学校	校長	すぎもと ひであき 杉本 秀彰
柏市子ども会育成連絡協議会	会長	かどい たかし 門井 隆志
柏市青少年健全育成推進連絡協議会	副会長	さかまき まさる 坂巻 勝
多世代交流型コミュニティ実行委員会	代表	つねの まさとし 常野 正紀
柏市PTA連絡協議会	会長	まえかわ よろず 前川 万
柏市ふるさと協議会連合会	会長	ねもと としはる 根本 利治
柏の葉サイエンスエデュケーションラボ	会長	はむら たいが 羽村 太雅
柏市ストップ温暖化サポーター 元我孫子市社会教育指導員		むらた しずえ 村田 静枝
さわやかちば県民プラザ	所長	いわさき まさお 岩崎 雅夫
柏市民生委員児童委員協議会	副会長	いとう かおる 伊藤 薫
開智国際大学	教授	てらもと たえこ 寺本 妙子
東京大学大学院	教授	まきの あつし 牧野 篤
文教大学	准教授	あおやま てっぺい 青山 鉄兵
市民公募		ほんだ のりこ 本多 紀子

任期：令和元年6月1日から令和3年5月31日まで

前川、岩崎委員の任期：令和2年6月1日から令和3年5月31日まで

柏市教育委員会 出席職員名簿

所 属	職 名	氏 名
生涯学習部	部 長	みやじま こうじ 宮島 浩二
生涯学習課 (事務局)	課 長	おきもと まさき 沖本 雅樹
	統括リーダー	ふなこし やすなり 船越 泰成
	統括リーダー	わたなべ まさえ 渡邊 雅恵
	副主幹	やまもと さとこ 山本 郷子
	主 任	たかまる とみお 高丸 富雄
	主 事	なかざわ まさみ 中澤 真海
	生涯学習専門 アドバイザー (生涯学習分野)	はえぬき ひろたか 萌抜 博孝
		ば ば ひでき 馬場 秀樹
	いわぶち ひろみ 岩渕 弘美	
中央公民館	館 長	やまおか やすひろ 山岡 康宏
学校教育部 学校教育課	指導主事	せきね のりかず 関根 典和

次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付及び新任委員あいさつ
- 3 生涯学習部長あいさつ
- 4 議長あいさつ
- 5 報告事項
令和2年度生涯学習部各課・館主要事務事業の概要について
- 6 説明事項
前年度会議の振り返り
社会教育委員会議の全体スケジュール
提言の骨子案について
- 7 講話
「子どもの体験にどう関わるか」
- 8 協議事項（グループワーク）
「子どもが楽しいと思える（ポジティブな）経験とは、どのようなイベントや活動があるか。」
- 9 事務連絡
- 10 閉会

目 次

1	報告事項 令和2年度生涯学習部各課・館主要事務事業の概要について・・・	1
2	前年度会議の振り返り・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3	社会教育委員会議の全体スケジュール・・・・・・・・	4
4	提言の骨子案について・・・・・・・・・・・・・・・・	5
5	講話・・・・・・・・・・・・・・・・	6
6	協議事項・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	参考（前回のグループワークの結果）・・・・・・・・	8

1

報告事項

令和2年度生涯学習部各課・ 館主要事務事業の概要について

別添配付資料①のとおり

新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応について

【施設】

○青少年センター

令和2年3月9日～5月31日：グラウンドを除く全施設の貸出しを中止
6月1日から当面の間、一部屋の利用人数及び利用時間の制限、多目的室（体育館）は、会議室としての利用のみ可能

○図書館

令和2年3月2日～6月8日：本館を含む全18館の臨時休館（但し、5月27日から、予約資料の貸出し等の一部サービスに限り再開。）
6月9日から当面の間、閲覧席等の間引きを行うなどの制限を設けた開館再開（制限解除時期については未定）

○郷土資料展示室

令和2年2月28日～5月26日：休室
5月27日より感染症拡大防止策を講じ開室

【イベント等】

各種イベント等の事業につきましては、中止及び延期、動画配信等新型コロナウイルスの情勢に応じた対応を行う。

2 前年度会議の振り返り

第1回 令和元年7月31日

協議事項

「今期の社会教育委員会議で取り上げるテーマについて」

主な意見

- 地域への愛着を育む必要
- 子どもの成長が必要
- 地域の活動支援
- 団体間のネットワークが必要

○ 柏市が目指す子ども像

「柏に誇りと愛着を持つ子ども」



今期のテーマ 「地域に愛着を持つ子どもを育むために」

第2回 令和元年11月6日

協議事項

「子どもに地域への愛着を持たせるためには何が必要か」

主な意見

- 親や地域の大人がつながることが必要
- 大人自身が楽しめるかが大事
- 地域活動等に親が参加すれば子どももついてくる
- 子どもの地域活動への関心には親の考え方が反映
- 子どもに行事で役割が与えられていること
- 楽しい経験となったか
- イベントを通じて、子どもが認められたり、大事にされた経験が大事

① 大人（親）がつながること、大人自身が楽しむことが重要

② 子どもにとって楽しい経験である地域活動が必要

（子どもに地域の中で役割が与えられている）

第3回 令和2年2月26日

協議事項

「大人（親）がつながる方法や大人が楽しんで地域活動に参加するにはどのようにしたらよいか」

主な意見

- 地域で行っている活動の意義や参加者であるという自覚が必要。
- 小さい活動から輪を広げることが重要。
- 興味のあるテーマ（子どもにとって有意義と思える取り組み，人生を豊かにすることができるか）
- 親子で参加できる行事が必要。
- 親同士の交流場（ざっくばらんに話せる環境）があると親自身も次回も参加したいと思える。
- 学校を巻き込むことで地域と保護者のつながりを持つことができ，そこから親密な関係を築かせることができる。
- 親と子供の楽しいと思うことは違う場合もあるので，親は親，子は子で分かれて楽しませることも必要。

3 社会教育委員会議の全体スケジュール

<令和元年度>

第1回
(7月31日)

- ・委嘱状交付
- ・議長及び副議長の選出（寺本議長・常野副議長）
- ・グループワーク「今期のテーマ」
- ・生涯学習部主要事務事業概要報告



第2回
(11月6日)

- ・柏市コミュニティ・スクール報告
- ・グループワーク「子どもに地域への愛着を持たせるためには何が必要か」



第3回
(2月26日)

- ・活動事例：羽村委員
- ・グループワーク「大人が（親がつながる方法や大人が楽しんで地域活動に参加するにはどのようにしたらよいか）」
- ・生涯学習推進計画策定状況報告
- ・社会教育関係団体補助金交付への意見



<令和2年度>

第4回
(8月28日)

- ・生涯学習部主要事務事業概要報告
- ・提言の骨子案について
- ・講話（テーマについて知見を広める）
- ・グループワーク



第5回
(11月)

- ・生涯学習推進計画案の説明
- ・計画案について意見交換
- ・提言（案）の検討
- ・実践例の協議



第6回
(2～3月)

- ・提言
- ・社会教育関係団体補助金交付への意見
- ・社会教育委員会議の振り返り

4 提言の骨子案について

タイトル『 』

1. はじめに

2. 現状認識・課題意識

第1回会議の協議
内容やコロナ禍や
CSについて

3. テーマを選んだ理由

第2回会議の内容
や愛着の効果

4. 子どもにとって地域への愛着が育まれるためには何が
必要か

①大人同士のつながりや大人が楽しみながら地域へ参加
するには

②子どもが楽しいと思える経験とは何か

第3回会議・今回の
協議内容について

5. まとめ
実践例

愛着の意義
実践するうえで意識した方がよいこ
と、気をつけること。どうつなげて
いくか等

次回会議の
協議内容

5

講話

『子どもの体験にどう関わるか』

1 発表者

青山 鉄兵

文教大学人間科学部准教授。専門は社会教育・青少年教育。
国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター副センター
長・埼玉県社会教育委員・日本 YMCA 同盟常議員・東京 YMCA
「野尻学荘」スタッフ。特技は手話。

6 協議事項

1 グループワークの実施

今回の議題

子どもが楽しいと思える（ポジティブな）経験とは、どのようなイベントや活動があるか。

2 テーマについての補足

- ・ 地域とともに子どもが成長していく実感を伴う体験や持続可能な将来の成長につながる楽しい体験等。
- ・ 地域の中で役割を与えたり，子どもを主役にするためにはどうすればよいか。
- ・ 大人になっても思い出に残るような体験活動等。
- ・ コロナ禍のなかで，どのような活動ができるか。

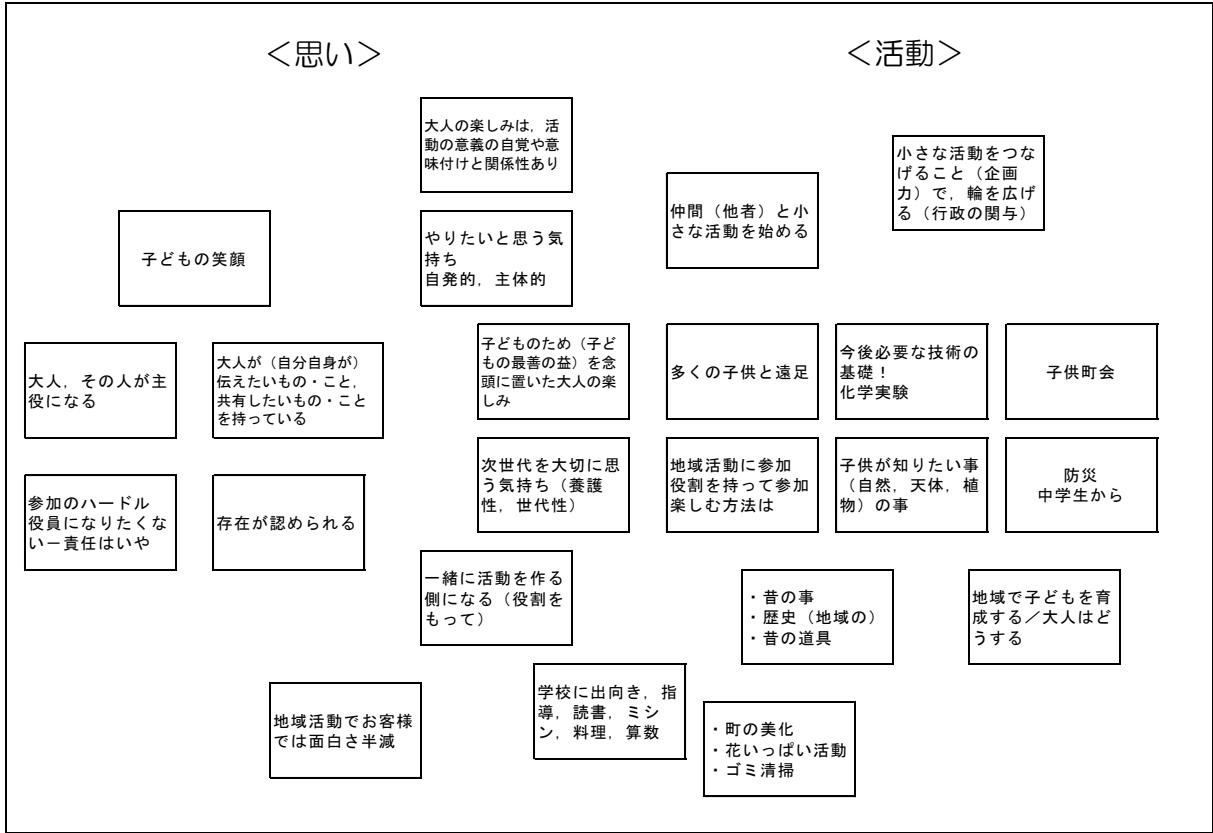
3 グループワークの方法

- ・ 議題について話し合うとともに，内容を付箋に記入してください。
 - ・ 20分で協議した後，話し合った内容の発表をお願いいたします。（班ごとに発表者を決めてください。）
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため，協議時間を短く致します。

参考

1 第3回社会教育委員会議 (R2/2/26) グループワークの結果

【1班】



【2班】

